

アジアン・ビート（台湾編）シャドー・オブ・ノクターン（1991）

ASIAN BEAT: SHADOW OF NOCTURNE

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本／台湾

時間 88分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

東洋版ヌーヴェル・ヴァーグといった作りになったシリーズ第5弾。妖しい魅力のクラブ歌手とひたむきに作品作りに打ち込むクリスタルガラス職人との、酷似した顔を持つ二人の女性の秘密を解き明かしていくストーリー。一言で言って難解な作品である。気が触れたような占い師や暗示的な夢、秘密クラブなどのアイテムが随所にちりばめられていて幻想的な雰囲気醸し出そうという努力は見られる。が、結局最後までストーリーの流れ自体が理解しにくい。物語のキーパーソンであるクラブ歌手の日本語があまりに聞き取りづらく、より一層難解になってしまっている。主人公トキオの魅力も他編に比べ表現しきれないため、どこにポイントを絞って観ればいいのかさっぱり分からない。必然性の感じられない“間”やカメラワークも間延びした印象。ヌーヴェル・ヴァーグ好きはまた違った印象を抱くのかもしれないが……。眠れない夜の睡眠薬としては役立つかもしれない。

【クレジット】

監督 ユ・ウェイン

ユン・ウェイン

監修 林海象 Kaizo Hayashi

企画 林海象 Kaizo Hayashi

原案 林海象 Kaizo Hayashi

脚本 舒国治

撮影 李以須

音楽 めいなC o.

出演 永瀬正敏 Masatoshi Nagase

大嶺美香

ニー・シューチュン

チュイ・デハイ

ヤン・ハンピン

鰐淵晴子